

1. 科目名 (単位数)	肢体不自由者の心理・生理・病理 (2 単位)		3. 科目番号	SSMP2351 SSMP2451 SNMP2451 SCMP2451 SBMP2451
2. 授業担当教員	須藤 典征			
4. 授業形態	講義、演習 (グループディスカッション)		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	特になし			
7. 講義概要	<p>本科目では、脳性まひに代表される脳性疾患と、進行性筋ジストロフィー症に代表される神経・筋疾患や骨・関節疾患、形態異常や外傷性後遺症に関する心理・病理・生理を学ぶ。医療面での規制が長期化することもあり、日常生活でも、家族や医療機関との連携を図り、まず、身体上・健康上の環境要因を整える知識・技術について学ぶ。また、一人ひとりに合わせて支援器具をうまく活用し、住宅環境や教育環境の改善をはかる点についても理解する。</p> <p>このことにより、肢体に障害のある人の「生活の質の向上」や効果的な支援に結びつける。</p>			
8. 学習目標	<p>【期待される効果】以下に関して理解し、説明することができる。</p> <p>① 肢体不自由児の起因や疾患などについての基礎知識 ② 肢体不自由児者や家族に関わる教師としての役割や教育内容 ③ 肢体不自由児者を取りまく地域行政や支援</p>			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	「脳性まひの原因・分類」に関するレポート (1200字)。			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 竹田一則著『肢体不自由児・病弱児教育のためのやさしい医学・生理学』ジアース教育新社、2019</p> <p>【参考書】 柳本雄次・河合康編著「特別支援教育第3版」福村出版、2019</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 肢体不自由の心理・生理・病理に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 2. 肢体不自由者への支援を行ううえでのニーズを説明でき、主体的に他と協調しながら具体的に対処できるようになっているか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>以下を総合的に検討し、判断する。</p> <p>1 授業への積極的参加 (発言、討議、態度、グループワークへの貢献、シートの取り組み等) 総合点の40%</p> <p>2 レポート (模擬授業、テストを含む) 総合点の60%</p> <p>*なお、本学規定の「3/4以上の出席」が単位修得の条件であることも判断規準となる。</p>			
12. 受講生へのメッセージ	<p>肢体不自由特別支援学校では、障害の重度重複化・多様化が進み、医療的ケアの必要な児童生徒も微増しています。障害のある児童生徒の教育に携わる場合、各障害の生理・病理・心理的特徴を理解することは不可欠です。基礎的な知識の習得に加え、さらにその家族の気持ちを理解できるような講義を展開していきます。</p>			
13. オフィスアワー	授業開始前後の休憩時間			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	本講義を進行する上での遵守事項の確認	事前学習	受講に際し「シラバスの12」を理解しておく。	
		事後学習	「シラバスの12」について合意したことを確認・意識付けをする。	
第2回	肢体不自由とは	事前学習	肢体不自由のイメージをし、まとめる。	
		事後学習	肢体不自由がもたらす生活の困難について考えをまとめる。	
第3回	肢体不自由の起因疾患・種類	事前学習	肢体不自由の起因疾患について調べておく。pp10～pp11	
		事後学習	肢体不自由の起因疾患についてまとめる。	
第4回	肢体不自由児の発達特性	事前学習	肢体不自由児の発達特性について調べておく。	
		事後学習	肢体不自由児の発達特性についてまとめる。	
第5回	脳性まひ① 痙直型	事前学習	脳性まひの「痙直型」について予習しておく。pp56～	
		事後学習	脳性まひの「痙直型」についてまとめる。	
第6回	脳性まひ② アテトーゼ型	事前学習	脳性まひの「アテトーゼ型」について予習する。pp59～	
		事後学習	脳性まひの「アテトーゼ型」についてまとめる。	
第7回	脳性まひ③ 失調型	事前学習	脳性まひの「失調型」について予習しておく。pp59～	

		事後学習	脳性まひの「失調型」についてまとめる。
第8回	二分脊椎・手足の奇形の病理・生理・心理	事前学習	二分脊椎について予習しておく。学会のHPで予め検索しておくこと。
		事後学習	二分脊椎について理解を確実にする。
第9回	進行性筋ジストロフィーの病理・生理・心理	事前学習	進行性筋ジストロフィー症の病型を調べる。pp64～
		事後学習	進行性筋ジストロフィー症の心理について考察する。
第10回	肢体不自由児の教育的特質	事前学習	肢体不自由児の認知特性について調べておく。
		事後学習	肢体不自由児の認知特性についてまとめる。
第11回	重度・重複障害について	事前学習	重度・重複障害についてどういう状態かイメージをまとめる。pp102～
		事後学習	重度・重複障害についてまとめる。
第12回	重度・重複障害児の発達特性	事前学習	重度・重複障害児の認知特性について考えをまとめる。
		事後学習	重度・重複障害児の発達特性についてまとめる。
第13回	医療的ケアと看護ニーズ	事前学習	特別支援教育の現場にも医療的ケアが多いことをイメージし、まとめる。pp106
		事後学習	教員が行える医療的ケアを確実にまとめる。
第14回	重度・重複障害児の教育的特質	事前学習	自立活動について予習しておく。
		事後学習	自立活動について確実に理解し、まとめる。
第15回	肢体不自由者の心理・生理・病理のまとめ	事前学習	関心のある起因疾患について決めておく。
		事後学習	決めた起因疾患についてまとめる。
期末試験			